

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

# 東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.33

令和7年3月17日(月)

文責：校長 園田栄作

## 感動の心のコモった卒業式

### ～ 御出席いただきありがとうございました！ ～

14日(金)に、第20回卒業証書授与式を行いました。来賓の皆様と保護者の皆様に御出席いただき、心のコモった立派な卒業式を執り行うことができました。小、中学校のそれぞれのリーダーとして学校を引っ張ってくれた卒業生の頼もしい姿。お世話になった卒業生のために感謝の気持ちを表そうと、態度や歌で一生懸命伝えた在校生の姿。お互いの気持ちが温かくつながる感動の卒業式となりました。御出席いただいた方からは、「立派な卒業式でした」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。これまでの伝統をつなぎ、さらに高めることのできた節目となる第20回にふさわしい卒業式でした。卒業生の「人を大切にする思いやりの心」は、しっかりと在校生の心に引き継がれました。この心の原点は、心の通い合う、人の温かいこの度島の地で、たくさんの人から目をかけていただいたからだと思います。卒業生をはじめ、度島小中学校の子供たちを今後も見守り続けていただきますようお願いいたします。



『式辞』

校庭の桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じさせる今日の佳き日、平戸市監査委員会事務局長 ○○○○様、PTA会長 ○○○○様をはじめ、たくさんの御来賓の皆様の御臨席を賜り、また、保護者の皆さまの御列席のもと、節目となる第二十回卒業証書授与式を挙行できますことに、心より感謝いたします。

さて、小学生一名、中学生七名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。「やさしく、かしこく、たくましく」の手下となり、下級生を引っ張ってきてくれました。

小学生の○○さんは、たった一人の六年生でした。行事のときの挨拶、一年生の給食のお世話、朝のボランティア掃除など、活動の中心にいつも○○さんがいました。下級生は、活動の進め方も、活動のやりがいもしてもらった喜びも、○○さんから多くのことを学びました。

中学生の七名の卒業生は、とてもやさしく、頼りがいがありました。登校の際に、校門でハイタッチと笑顔で出迎えてくれる挨拶運動は、本校の自慢です。私は、外部の方に本校のことを紹介するときは、必ず、この挨拶運動のことを一番に話してきました。この挨拶運動が、「やさしく」にも、「かしこく」にも、「たくましく」にもつながっていると、確信しています。

今年度は「Smile (笑顔) & Challenge (挑戦) & Life (命・生活)」を合言葉に取り組みました。運動会では、地域の方を招いて、一緒に競技をして楽しんだり、演技を披露したりしました。中総体の卓球競技では、団体戦で男女とも優勝し、県大会に出場することができました。学習発表会では、それぞれの学年の発表をはじめ、地域に伝わる「盆ごうれい」も披露することができました。みなさんが発表会や大会に向け、日々の生活を大事にし、目標を掲げ、Challengeして取り組んだことで達成感や多くの成果がありました。そして、その一生懸命な姿で、仲間にも、保護者の方にも、地域の方にもSmileの輪が広がりました。

また、「自分の学校は、自分たちの手でより良くしようとする」、度島小、度島中の「スタンダード」の取組は、テーマとして掲げる「自分磨き」の基礎となりました。

これから、みなさんが生きていく未来は、「予測困難な時代」と言われています。度重なる大きな災害、世界で起きている争い、若者も手染めしてしまう犯罪など、だれも予測できなかったことがすでに現実となっています。

また、十数年後の近い未来では、現在、人間が担っている様々な仕事の半分が、人工知能「AI」に変わり、失われると言われています。

そんな未来だからこそ、「人」を大切にしてください。AIがどれだけ優秀になっても、それをどう判断し、どう使うかは、「人」です。みなさんが、自分を高め、成長してきたように、自ら考え、判断し、行動することが大事です。「人」としての力、魅力をさらに向上させ、未来を力強く生きてください。ここで、みなさんに次の言葉を贈ります

これまでは『自分磨き』

これから『自分磨き』

一生『自分磨き』

そして、高めた力を、自分のためだけに使うのではなく、これまでできてくれたように、周りで困っている人のために使ってほしいと願います。

さて、保護者のみなさま、お子様の御卒業おめでとうございます。お子様が立派に成長し巣立っていく今日の姿を見られて、喜びもひとしおのことと拝察いたします。学校として不十分な点多々あったとは存じますが、今日まで本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。私どもは、明日からも、前進していく八名を見守り応援してまいります。卒業するみなさんにとって、素敵なSmileで輝く未来となることを祈念して、式辞といたします。

令和七年三月十四日

平戸市立度島小中学校 校長 園田 栄作